

7 畜舎消毒

畜舎内の雑菌を増やさないためには、定期的に細菌増殖の場となる糞等の汚れを落とすことが必要です。従って、消毒の前段として清掃の徹底が必要です。畜舎が汚れたまま、いくら消毒しても効果は期待できず、単なる経費の無駄となります。

理想としては、スチームクリーナー等で徹底的に洗浄した後、指定された濃度にした消毒薬を1週間に1度散布すべきです。ただし、現実問題として消毒効果は2週間程度持続するので2週間に1度程度でも構いません。

また、各々の消毒薬の特性を十分に把握した上で使用しないと効果がないばかりか害にもなり得ることに注意して下さい。

【消毒薬の特性】

種 類	使 用 対 象							有機物の影響 (糞等)
	畜舎	踏込 槽	畜体	手指	飲水	哺乳 器	ハットッ ク	
次亜塩素酸ソーダ	○		○		○	◎		++
クロールヘキシジン			◎	◎				++
逆性石鹼	◎		◎	○	○	○		+++
両性石鹼	◎		◎	○	○	○		++
生石灰							◎	—
クレゾール石鹼	○	○		○				±
フェノール誘導体	○	◎						±
ヨードホルム	○		◎	○	○			+
クロールクレゾール	○	◎						+
オルソクロールベンゾール	○	◎						+

◎最適, ○適している

+++ かなり影響を受ける, ++ 影響を受ける, + やや影響を受ける, ± ほとんど影響を受けない

8 施 設

(1) 山羊舎

山羊は湿気を嫌うことから山羊舎で先ず注意しなければならないのは換気です。このため、敷料を潤沢に使用できない場合には、山羊舎は高床式にする等の対応が必要です。



長野支場ザーネン種山羊舎とその内部